なにわ区ラボ第 22 回

「伝える地活協」報告レポート

◎みんなの広報発表会を開催しました！

2016 年 8 月 9 日（火）に開催した第 22 回なにわ区ラボ。今回は、地域から 24 名が参加、みなさんが取り組んでおられる広報について担当者から発表していただきました。各地域の「印刷物での広報」と「ウェブでの広報」の工夫やアイデアを通して、効果的な情報発信について考えました。

Ⅰ. 印刷物で伝える

◎発行ペース、記事の分担や内容、配り方に関する工夫が集まりました。

①『カレンダー型広報』「しおくさだより」（塩草地域）

・月 1 回発行
・行事予定がひと目でわかる
・町会長会議や 憩の家で配布

②『会議で全員に記事募集』「敷津友愛」（敷津地域）

・平成元年スタート
・年 1 回／ 1,300 部
・成人式直後に新成人に執筆依頼

③『全戸へポスティング』「さくら新聞」（浪速地域）

・年 2 回／各 4,000 部発行
・学校（3 ヶ所）に記事募集

④『地活協発足後に創刊』「恵美地活協だより」（恵美地域）

・年 2 回／各 500 部
・地域在住のデザイナーが編集
・地元企業の広告協賛 4 軒／号

⑤『町会長の顔写真入り』「日本橋ネットワークだより」（日本橋地域）

・年 1 回／ 1,000 部発行
・各町会長が分担して記事執筆
・地元企業（東洋紙業高速印刷）が編集・印刷

Ⅱ. ウェブで伝える

◎更新ペースや編集のしかた、活用するツールに関するアイデアが集まりました。

①『スマホアプリを上手に活用』（ブログ・立葉地域）

・様子が伝わるように、複数枚の写真を、写真加工アプリで 1 枚にまとめて投稿
・投稿した告知チラシや写真が、報告資料に早変わり！報告作りの負担軽減に
・決算報告書も写真で公開

②『いつでもどこでも更新』（ブログ・幸町地域）

・スマホで手軽に編集作業
・更新頻度にも気を配る
・もちつきの記事で 39 人がシェア！
・「ブログ読んでます」と声をかけられて嬉しかったことも

③『毎日地元ニュースを更新』（ブログ・新世界援隊）

・1 日 500 ～ 800 人が見る
→外部の人や地元の若者が多い
・周辺地域のお店やイベントも紹介
・地元では当たり前のことが、地元以外の人には珍しく見えることも

④『ウェブもカメラも初心者』（ブログ・日東地域）

・インターネットもブログも初心者でスタート
・写真撮影も担当。プライバシーに配慮しつつ、雰囲気を伝える

⑤『メルマガで情報配信』（メールマガジン・大国地域）

・平成 12 年 10 月から配信
・約 350 人が登録。80 歳代の登録者も！
・原稿を配信業者へ FAX するだけ
・毎月 1 日に月間行事予定や地域情報を一挙配信
・当日の中止や決行も迅速に伝えることができ、連絡網としても役立つ